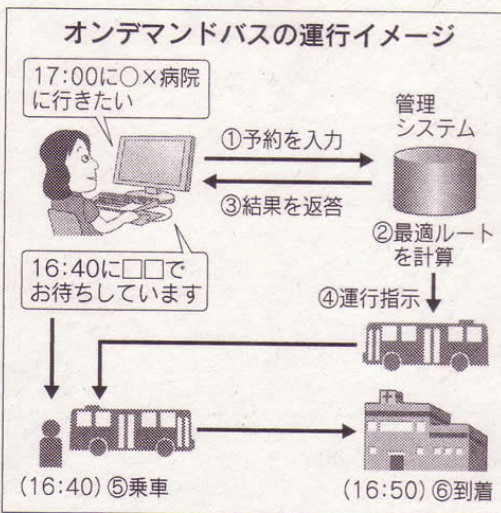


# 乗降、時間も場所も自由

## 柏の葉でオンデマンドバス

### ネット予約するだけ



### 東大などが実験

東京大学などは十月から、柏の葉地区(千葉県柏市)で予約に応じて運行する「オンデマンドバス」の実験を始める。プログラムで効率的な経路を計算。乗車場所や降車場所も自由に指定できる。病院の診療予約など他のサービスと合わせて使えるようにする。大学関係者だけでなく、地域住民の足として役立て、マイカー利用を減らし環境負荷の低減にもつなげる。



東大柏キャンパスなどを中心に運行する(イメージ写真)

実験は東大と東武バス、地元タクシー会社や病院などが組織する協議会が進める。対象地域はつくばエクスプレス(TX)柏の葉キャンパス駅と東大柏キャンパスを中

心とする約十二平方メートル。実験にはバス一台のほか、タクシー十台を補助的に使う。  
会員登録すれば一般の人も使える。〇八年度中は国や科学技術振興機構などから補助金があり、運賃は不要だ。利用者はパソコンから予約サイトにアクセスし、出発や到着の希望時刻を入力。プログラムが効率的な経路を瞬時に割り出し、希望に近い時刻を返答する。  
乗車場所と降車場所も自由に指定でき、登録すれば自分用の「バス停」として使える。バスが通れない場所や、地区中心部から大きく外れた場所、利用者が少ない経路では、タクシーを乗り合いバス代わりに使う。担当の大和裕幸教授によると「利用者が一日三百人程度なら台数を増やさず対応できる」という。

予約サイトでは、病院

の診察など公共サービスにも対応する。プログラムが診察予約に間に合うよう、バス経路と運行時刻を計算する。留学生が使いやすいよう、英語や中国語などの外国語にも対応する。

〇九年四月からは課金制での実験を始め、対象地域も柏市中心部などに広げる。バスは一回百六十円、タクシーは三百円で運行し、採算性を検証する予定だ。  
柏の葉地区は一九九九

年以降、東大や千葉大学の施設が進出。学園都市として開発が進んでいる。ただ地区内の公共交通機関が路線バスに限られ、本数も少ないため、地

茨城県南の拠点 10月に営業開始  
常陽銀行が新設  
常陽銀行は七日、つくばエクスプレス(TX)ば駅前に県南地域の統括拠点と新設すると発表した。現在建設中の常

区内で自家用車を使う人が多い。東大はオンデマンドバスの普及により、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量を二五%減らすことができるとみている。

陽つくばビルに研究学園都市支店を移すとともに、資産運用専用店を新設。法人営業の拠点も設ける。十月二十七日から営業を始める。  
常陽つくばビルは地上十階建て。一階には資産運用・個人ローン専門の